

1 平成29年度に実施した自校の学力調査結果 (単位:%)

平成29年9月28日
墨田区立中川小学校

教科	観 点	墨田区学習状況調査										全国学力・学習状況調査	
		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		6年A	6年B
		目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均 正答率 全国平均 正答率	目標値	本校平均正答率 全国平均正答率	本校平均 正答率 全国平均 正答率	本校平均 正答率 全国平均 正答率
国語	国語への 関心・意欲・態度	75.6	82.0 81.0	65.6	77.7 71.8	68.1	80.4 68.3	65.6	80.8 76.4	65.6	79.0 70.6		45.6 41.7
	話す力・聞く力	71.0	74.8 75.3	63.0	67.5 67.8	71.1	71.1 70.6	75.0	87.6 87.4	60.0	73.1 67.6	73.3 69.2	63.3 64.9
	書く力	78.1	87.9 84.8	65.6	87.8 74.3	61.4	88.2 62.3	58.5	78.0 70.2	67.3	81.7 70.0	58.3 60.6	57.3 53.4
	読む力	66.4	66.8 69.6	64.3	73.9 70.9	63.9	82.4 68.9	73.4	81.0 79.7	72.2	78.9 78.3	63.3 70.2	53.3 49.2
	言語についての 知識・理解・技能	90.0	98.5 95.7	80.9	85.8 89.1	67.4	86.4 72.8	68.4	70.7 72.9	69.2	74.9 74.9	80 78	
社会	社会的事象への 関心・意欲・態度					64.5	64.3 62.9	66.0	72.3 68.5	64.2	60.1 68.5		
	社会的な 思考・判断・表現					63.7	69.1 65.5	65.2	68.7 68.4	65.0	64.5 67.7		
	観察・資料活用 の技能					71.3	81.5 75.1	67.9	65.6 69.0	69.4	68.6 72.2		
	社会的事象について の知識・理解					76.4	76.5 78.6	70.2	74.3 71.8	68.3	65.3 70.9		
算数	算数への 関心・意欲・態度	65.6	72.7 66.5	56.5	61.5 58.2	67.5	74.2 71.0	59.3	68.7 62.8	40.0	50.0 37.2		
	数学的な考え方	70.7	76.0 72.5	63.9	72.5 68.6	60.6	68.9 66.1	60.2	68.8 63.8	56.1	63.8 56.1		49.6 45.4
	数量や図形に ついての技能	82.5	87.7 86.2	76.9	82.1 80.0	76.1	81.6 79.8	71.4	75.7 74.2	71.0	75.1 71.7	84.6 77.7	
	数量や図形について の知識・理解	83.1	87.9 84.6	69.8	77.0 75.6	74.0	81.4 77.0	70.3	73.7 72.6	68.6	75.0 69.9	81.4 79.7	56.7 48.6
理科	自然事象への 関心・意欲・態度					67.7	69.2 73.0	61.1	59.0 66.3	70.4	71.8 77.2		
	科学的な思考 ・表現					58.4	62.1 62.5	54.8	46.6 56.3	62.6	62.7 67.7		
	観察・実験の 技能					64.4	71.9 66.5	71.3	73.4 79.3	60.0	59.5 64.4		
	自然事象について の知識・理解					67.2	68.6 71.5	66.3	61.1 70.7	68.2	69.3 73.1		

- 1) 目標値：学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童の割合を示したもの。観点ごとの目標値は、設問ごとに設定された目標値をもとに算出されている。
- 2) 平均正答率：正答率の平均値のこと。観点における学年のデータとして用いる際は、その観点の全設問における学年集団の正答率の平均値。なお、正答率を算出するうえで、記述・論述式問題の準正答（部分点）については、正答数を0.5として換算している。

2 自校における調査結果の分析

<p>◇よい点 今年度の国語、算数では、すべての学年が目標値を上回り、特に算数では、全学年で目標値、全国平均正答率を上回った。校内学力テストや朝学習での基礎・基本の習熟に取り組んだ成果が表れてきている。算数科の校内研究を通して、授業改善を行い、日々の授業を大切にすることで、子どもたちは落ち着いて授業に取り組んでいる。また、算数を中心に今まで身に付けた学習を生かし、学習の振り返りや児童同士での学び合いを授業に取り入れることで、子どもたちが主体的に考える活動ができるようになったことが学力向上の要因として挙げられる。</p> <p>◆課題 第2、3学年国語の観点「話す力・聞く力」は全国平均正答率をやや下回った。第5学年社会の観点「観察・資料活用」、第6学年は社会4観点が目標値を下回った。第5学年の理科の観点「自然事象への関心・意欲・態度」、「科学的な思考・表現」、「自然事象についての知識・理解」、第6学年の理科の「観察・実験」が目標値を5ポイント以上下回った。</p> <p>◎改善の方向性 第2、3学年国語の観点「話す力・聞く力」は朝のスピーチや授業での発表の仕方や聞き方など繰り返し指導を行い、話すポイントを押さえさせる。また話の要点に気を付けながら聞き、聞くことに慣れさせる。社会では授業で、複数の資料を関連させて読み取る活動や考えたことをまとめる活動に取り組ませる。理科では授業内でそれぞれの実験の過程や結果について考察し、「振り返りシート」を活用することで定着を図っていく。</p>
